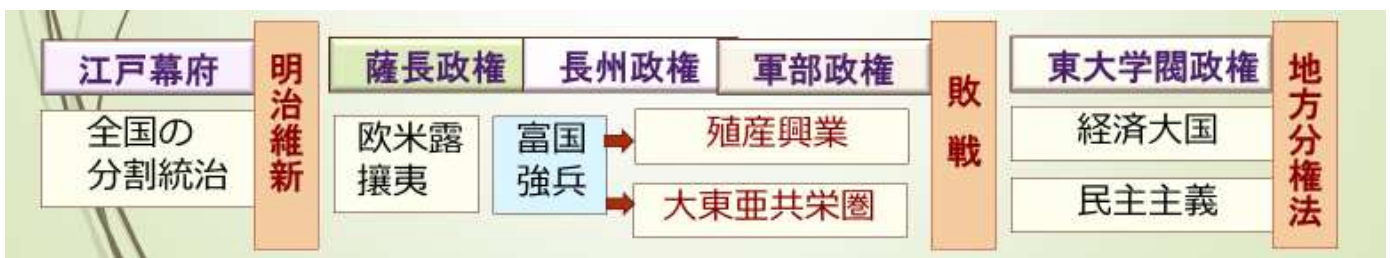


地方創生における 今後の専門家の立ち位置を考える

国は、地方を創生しなければと言っているが・・・

- ◎ なぜ、何を目的として 「地方を創生しようとするのか」
- ◎ どのように 「地方を創生することを進めたらよいか？」

◆明治時代から続く中央集権の流れ



問題： 国に依存することに慣れてしまった地方の行政と暮らし

課題： 明治からの 150 年間の中央集権支配からの脱却はできるだろうか

◆地方分権法・・・国が行ってきたことの一部を地方の自治体に移す試みが始まる

地方自治体中央集権のこれまでの仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ◆国が制度や仕組みを考え、きめ細かく自治体を指導 ◆実行部隊を作り、自治体や企業ができないことを直接実施する仕組み（〇〇公団、〇〇事業団、農協、漁協、商工会議所 etc）
地方分権を目指した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ◆地方分権法（2000年）・・・国は余計なことをせず、地方に関しては地方自治体（県・市町村）に頑張ってもらう ◆国が支配していた実行部隊の役割や実行内容を絞り込む（〇〇公団⇒〇〇機構、郵便、農協などの改革）

◆震災復興の地方主体の枠組みは、うまく機能したのだろうか

地方自治体の取組の状況	<ul style="list-style-type: none"> ◆区画整理など国が決めた事業を実施するのが役割 ◆地域の実情や創意工夫に合わせて活用するために用意された基金や効果促進事業はどのように使われたかが不明な部分が多い ◆基盤事業の後の地域の個別の街づくりには手を出さない ◆何かをすれば責任があるので、決められたことしかしない
地方分権を目指した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ◆行政がきっと何とかしてくれるだろう ◆自分達が何かをしなくてもいずれ何とかなるさ ◆何かをしなければならぬとしても何をしたらいいのか ◆勝手なことを言う住民が多いので、地元をうまくまとめきれない

◆地方を創生するために、必要なことは？

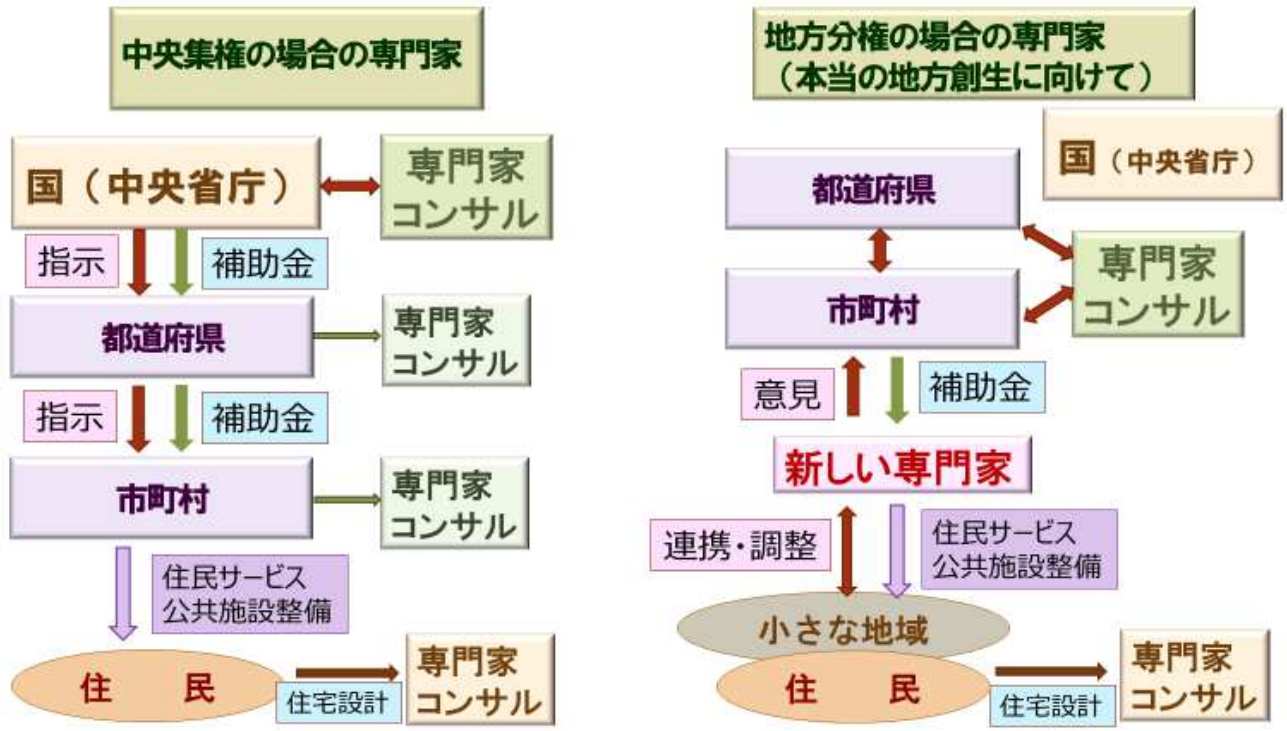
福島県、いわき市の震災復興への取組意識	◎福島県；原発エリアがたいへんだし、他の山間部も疲弊しているし、いわき市よりもそちらの対応の方が重要 ◎いわき市；被災エリアはたかだか 1.7%、市全体を考える方が重要
地方自治体と地元住民との意識のギャップをどう埋めるか？	◎市町村；復興事業の経験がないし、小さな地域だけに肩入れしたくないし、それらのことで責任を取りたくない ◎地元住民；行政頼みで何をしたらよいかわからない、能力も乏しい、地域のみんなをまとめきれない



◎市町村に任せず、合併で市町村でも手の届きにくくなった小さな単位(地域)を強くする
 ◎小さな地域を強くするための「専門家」「指導者」を小さな地域に送り込む

◎草野球、草サッカー、草楽団などのチームを強くするためには、グラウンドや練習場を整備しただけでは強くならない。良い監督やコーチ、指揮者が必要	◆地域を強くする専門家、指導者を養成する ◆専門家、指導者を派遣する仕組みを用意する ◆地域づくりのコーディネートで資金確保できる仕組みを用意する
--	---

◆地方を創生に向けて、新たな専門家の立ち位置は？



このような新しい専門家をどう呼ぶか？

- ・まちづくりアドバイザー
- ・まちづくり監督
- ・まちづくりマネージャー
- ・まちづくりヘッドコーチ